

広報 いまり

昭和29年6月19日
第2種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円 昭和52年5月1日 伊万里市役所総務部企画課発行

第279

5日は「こどもの日」。こどもの人格を重んじ、幸福をはかるとともに、お母さんに感謝する日です。将来の伊万里市を背負って立つこどもたちに愛の声をかけましょう。

(写真 鯉のぼりをつくり、カブトをかぶり、元気な「ときわ保育園」のよい子。4月27日撮影・山代町立岩にて。)

'52

5月

伊万里工業団地の造成始まる

総事業費80億円で136万㎡を造成

地域振興整備公団が造成する「伊万里工業団地」の起工式は3月29日、公団や県、市などの関係者が出席し、山代町鳴石地

の継続事業で造成されます。当初計画は、昭和52年3月完成の予定でしたが、国の総需要抑制の影響や工場立地法に基づ

の浚せつを行います。完成後は、食品コンビニートや住宅関連の産業を中心とした無公害型の企業を立地することにしていきます。

通産省は、同団地の施工に先がけて、昭和50年度・51年度に伊万里湾の水質や潮流の環境事前調査を行い、今年度は大気調査も行う予定です。

また、市は、水路工事の施工について、市環境保全対策審議会に工事内容を諮問し、その答申を受け、工事公害などを起さないよう公団側に要望しています。



先で行われました。

同団地は、伊万里湾総合開発の一環として黒川町に造成した七ツ島工業団地に次ぐ大型の工業団地です。

造成面積は136万5,000㎡で約80億円以上を投入し、5か年

く環境アセスメント（産業公害事前調査）の実施などで着工が延びていたものです。

公団の計画では、まず、工業団地の背後地にある用水を排水する幅30m・長さ1,000mの水路建設・護岸工事・航路や泊地

広報こよみ

- 5日 こどもの日・第5回史跡山ノ寺松浦党祖まつり
- 10日 交通事故相談日（生活相談課）
- 17日 市民ロビーで市長と会う日
- 19日 無料法律相談日（生活相談課）
- 24日 交通事故相談日（生活相談課）

をこぼすようなことは決してされぬ。それは何杯でも使われる。夏に冷房をかけられる時も、最高のボタンははずして次の段にセットされる。謝と反省の心に無限の神の恩恵が宿ることを知っておられるからである。人間の欲望は無限であるが、およそこの世に形あるものは有限を脱し得ない。そこに、有限と無限の間に二分の緩衝帯がある。現代の人間はこの緩衝帯をなくしてしまつて、有限の身に無限の欲望の実現を計ろうとする。人類の危機がそこに訪れぬはずはない。現に地球上に資源が枯渇しはじめて、資源国のアメリカでさえ、カーター大統領が節約令を出している。まして資源のない日本はこのままではすまされぬ。節約には節約の心が必要でさらに深く二分の妙理を会得すれば、おのが心に不満はなく、さらにその二分には無限の自然の恩恵が与えられることを先聖が実証されている。

市民病院は現在地に建てたい

竹内市長全員協議会で説明

竹内市長は、4月21日に開かれた市議会全員協議会で、市長の諮問機関である病院運営審議会（吉原羊一郎会長・20人）が答申した「市民病院の位置と建設問題」について、その内容を説明するとともに、二里町の現在地に建設する方針を明らかにしました。

経営不振の市民病院再建問題は、市議会議員や学職経験者で構成する同審議会で論議されてきましたが、二里町の現在地に新築すべきだという意見と立花台地に建設すべきであるという意見があり、結局、両論併記のまま市長に答申されていたものです。

市は、この答申を受けて両候補地を比較検討した結果、立花台地に建設した場合、用地取得費を含む事業費が現在地より1億6,900万円高くつくほか、法定伝染病棟を併設すると地元との折衝が困難であることから、現在地に新築する方針を固め、市議会に説明しました。

もちろん、建設に際しては予算など市議会に提案することに



なりますが、計画では、総事業費7億2,600万円で、今年度は4,000万円の起債申請と実施設計に入り、3か年の継続事業で行い、一部4階建ての病棟（一般病床71）と医師住宅・看護婦宿舎を建設することにしています。

また、休日診療の充実を図るため立花台地に休日救急センターを建設する計画をもっていることも明らかにしました。

同センターの建設は、市民病院に交代医師の確保などが困難であることから医師会の協力も必要であり、准看護学院の敷地内に別棟として建設する予定です。

同センターは、建物180㎡で医師・看護婦・事務職員それぞれ

1人が休日に交代で勤務し、急病人や交通事故などの応急手当を行おうとするものです。

町別飲酒運転検挙者数

(昭52.3.31現在 伊万里警察署調)

町名	1月~2月	3月	計
伊万里	12	7	19
黒川	1	0	1
波多津	0	0	0
南波多	3	2	5
大川	2	3	5
松浦	2	2	4
二里	0	3	3
東山代	2	1	3
山代	1	4	5
(市外)	17	3	20
計	40	25	65

合も風呂桶八分にしてお湯
 師匠は風呂に入られる場
 く反省させられた。
 あり方を師匠に照らして深
 真心の受けられない自分の
 わたしは、その時、人の
 た。の寿司に手をつけられな
 だいていたので、せっかくな
 おいしく、腹いっぱいいた
 は、師匠の家のごちそうが
 わたしを含めてほかの者
 そうに食べられた。

持参された。
 師匠はその寿司を皆につ
 ぎ渡して食べるようにす
 めながら「自分はいつでも
 腹八分にしていてから、い
 いものがくれば、すぐにい
 ただける」といっておいし
 そうに食べられた。

むかしから「腹八分」と
 いうことわざがある。
 ある時、わたしの心の師
 匠を囲みながら三・四人で
 食事をとにしたことがあ
 るが、ちょうど食事を終
 た時、東京から師匠の高弟
 が着かれ、自分で丹精こめ
 てつくられた「ちらし寿司」
 を持参された。



高値取引の一番茶が全滅 竹内市長日南郷茶を視察

竹内市長は、4月6日、2月の異常寒波で大きな被害を受け

りました。市は天災融資法の適用申請事務を進めています。

た東山代町日南郷の茶園を視察し栽培農家の皆さんから被害状況を詳しく聞きました。



現在、日南郷には原悟さんら15人が成園17

▶竹内市長を囲んで話し合う日南郷の人たち◀

万3,000㎡・幼園3万7,000㎡の茶栽培を行っており、年間約3,600万円の生産額をあげていましたが、今年は高値のつく一番茶が寒波に見舞われ、二番茶の出荷さえ危ぶまれているのが現状です。

栽培農家の話によると、茶はマイナス7度が10時間も続くと枯れるが、今年は地表でマイナス15度が10時間以上続き、すべてが脱水症状をおこして枯れてしまった。寒害対策としてこれまでらい麦の栽培もしてみたが収穫期が雨期と重なるため腐れるし、大根やキャベツは連作できないなどから、結局、茶栽培一本にかけてきた。今年は収穫の望みがないため、土木工事の現金収入で家計を支えてたので協力してほしいなどの要望が出されました。

竹内市長は、一面赤くなった茶園を見て寒害のひどさがわか

土木工事の就労は、建設業協会とも話し合っているの、希望者は名簿を提出してほしい。

また自作農維持資金の貸し付けを申請するなど、皆さんの期待にそうようできるだけ努力をしますと激励しました。

市は、このほど、県や農協の協力をえて、腰岳のみかん園4万㎡を日南郷の3人に副団地としてあつせんした結果、双方の了解をとるまでにこぎつけました。

当分は、そのままみかん園として活用し、将来は、日南郷での経験を生かして茶園にする計画です。

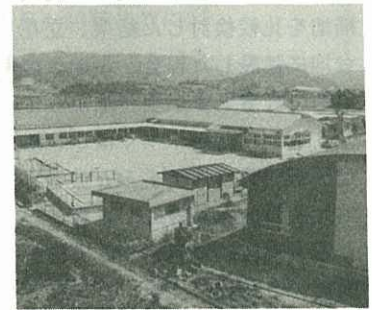


大川町にコミュニティ・センター落成 統合保育園もいっしょに

昭和46年に全国39か所の一つとして指定を受けた、大川町の農村型モデルコミュニティ・センターがこのほどできあがり、4月5日に落成式が行われました。

コミュニティ・センターは、昭和47年3月に公民館（兼出張所）と子ども遊園広場が完成、昭和49年3月に老人憩の家、昭和52年3月に保育園がそれぞれ完成し、みごとな施設が整いました。

センターの建設には、4施設合わせて1万1,908平方メートルの用地と1億4,793万円を投じました。センター内の保育園（大川・井手口・立川・駒鳴保育園を統合・定員140人）は、



市内で初めての乳児モデル保育園も行ないます。

また、大川町長野出身の堀田兼雄さん（佐賀市高木瀬町在住57歳）から「センターの運営に役立ててください」と、300万円の寄贈を受けました。コミュニティ運営委員会は、センター用の8人乗り乗用車1台と保育園用テレビ3台を購入しました

土井建設部長の後任に井手氏

社会教育課に文化財担当を配置

土井末年建設部長は、4月から県土木部主任工事検査監として復帰しました。

土井氏は、昭和48年7月、県から市建設部長として赴任、都市開発・道路建設などの重要事業に取り組むとともに市職員の技術向上に尽くされました。

竹内市長は、土井氏の後任に県唐津港管理事務所次長だった井手久嗣氏（52歳）を発令するとともに、国体室の廃止・大川地区保育園の統合・保育園の定期異動・文化財保護行政の充実を図るため、4月1日付で次のとおり人事異動を行いました。

【課長補佐待遇】（1日付）

▶解く国体室長＝前島重秋 ▶大川保育園長＝波多 慶

【係長待遇】

▶福祉事務所＝田中 匡 ▶伊万里保育園＝奥村栄江 ▶みなみ保育園＝武藤烈子 ▶大川保育園＝松本サチ

【一般職員】

▶総務課＝山口忠幸 ▶市民部調整室＝山口正信 ▶市民課＝多久島レイ子・野口黎子 ▶税務課＝深江ツヤ・木下正彦・松永宇作 ▶環境衛生課＝前田美和子・野口愛子・松本鈴美 ▶市民病院＝松本芳美・松尾アヤ子 ▶伊万里保育園＝橋口俊子・藤松昌江 ▶大坪保育園＝橋本君子・合谷滝江 ▶みなみ保育園＝古場久子 ▶牧島保育園＝川本寿美子 ▶松浦保育園＝古場恵美子 ▶大川保育園＝原和

子・松尾アサヨ・井手ヤス子・永峰美津子・田中洋子・吉住喜美子・大川内保江・森美穂子・植田静子 ▶南波多保育園＝鶴丸寿美子 ▶前平保育園＝池田シズヨ ▶農業委員会＝鶴田健太郎 ▶教委社会教育課＝杉本正幸 ▶牧島小学校＝堤ミチ子 ▶大川内小学校＝光田道雄 ▶黒川小学校＝喜多恵子 ▶波多津小学校＝篠崎勝子 ▶東山代小学校＝田中勝見 ▶伊万里中学校＝立石茂 ▶波多津中学校＝草場徳美 ▶松浦中学校＝吉

島悦男 ▶中部地区学校給食センター＝池田雅裕

【新規採用】

▶水道部工務課＝腰 洋一
【課長】（5日付）

▶農林水産課水産係長事務取扱
い＝松尾重利

【課長補佐待遇】

▶併任公平委員会事務局長＝福田幸吉

【退職】

▶農林水産課課長補佐兼水産係長併任公平委員会事務局長＝内山和三 ▶水道部工務課（係長待遇）＝黒川実雄 ▶税務課＝山本和良 ▶環境衛生課＝山口太八 ▶大川野保育園＝多田直子 ▶国見中学校＝福田藤次

交通安全指導員が決まりました

助すけ合って交通安全に努めよう

交通安全活動の推進と市民の交通安全を守る交通安全指導員34人が決まりました。任期は2年です。（順不同）

古賀 常六	松島町
川原 為則	〃
宗 泉	浜町
百田 昭男	立花町
山口 哲二	〃 渚
川添 義光	〃 西円蔵寺
山口美代治	木須町木須東
井手口政己	瀬戸町中通
二股 健	大坪町柳井町
池田 修	〃 白野
大久保 嵐	大川内町平尾
池田 静男	〃
中島 信俊	黒川町塩屋
竹崎 茂	〃 奥野

岩野 英一	黒川町長尾
前田 四郎	波多津町畑津
田中 敏雄	〃 中山
井手 實	南波多町井手野
熊川 未雄	〃 水留
仲尾 勝	大川町東田代
仲尾 佐一	〃 宿
松尾 竹司	松浦町下平
松岡 常雄	〃 藤川内
川本 薫	〃 金石原
清水 智	二里町大里
中里 貞方	〃 作井手
山口 纒	東山代町里
大野 茂樹	〃 川内野
多久島高夫	〃 長浜
山口 孝	山代町楠久
大崎 博生	〃 久原一区
金子 義美	〃 浦の崎

個人住民税の諸控除を引き上げ

詳しいことは税務課へ

税負担の軽減を図るため、地方税法が一部改正されました。

(個人の住民税)

基礎控除や配偶者控除・老人扶養控除・配偶者のいない世帯の1人目の扶養控除額が1万円引き上げられて20万円になったほか、2人目からは17万円から19万円に、障害者・寡婦・老年者、勤労学生控除額が16万円から18万円にそれぞれ引き上げられました。

これら諸控除額の引き上げで夫婦ども2人の標準世帯の課税最低限は、29万3,000円引き上げられて130万9,000円となりました。

非課税の範囲拡大では、障害者・未成年者・老年者および寡婦の非課税限度額を80万円(現行70万円)に引き上げ、低所得者層の負担の軽減も図られています。

(法人市民税の均等制)

- ・資本金が1億円を超え、従業員100人以上の法人……8万円(現行2万4,000円)
- ・資本金が1億円を超え、従業員100人以下の法人……2万4,000円(現行1万2,000円)
- ・資本金が1,000万円を超え1億円以下の法人……2万4,000円(現行1万2,000円)

“たばこ”は
市内で買ひましよう
1箱(20本入り)を市内で
買うと、16円06銭が道路や学
校など建設の財源になります

- ・資本金1,000万円以下の法人……8,000円(現行7,200円)
- (電気税・ガス税)

料金改正の実施に伴い、税負担の軽減を図るため、6月1日以降の使用分から、それぞれ1か月の使用料が、電気の場合は2,400円・ガス4,800円以下の時は非課税となりました。

(軽自動車税)

同一市内で軽自動車の所有者の変更があった場合には、月割課税を行わないことになりました。

(国民健康保険税)

課税額の算定に当たっては、被保険者でない世帯主に係る所得割額・資産割額を課税額に算入しないことになりました。

また、課税限度額が15万円から17万円に引き上げられました

住宅金融公庫融資付 積立分譲住宅入居者募集

市土地開発公社が造成した立花台地の一区画に、佐賀県住宅供給公社が積立分譲住宅を建設することになり、入居者を募集します。

- ▶募集戸数 15戸
- ▶住宅の規模 木造平家または2階建て63.17㎡(3DK)
土地面積280㎡
- ▶分譲価格 950万円(住宅金融公庫融資額420万円)
- ▶申込受付期間 昭和52年6月21日～30日(17時まで)
- ▶申込先 市役所都市開発課開発係(☎③2111内線346)
- ▶入居予定時期 昭和53年7月31日

※申込資格など詳しいことは市役所都市開発課または佐賀県住宅供給公社(☎0952-25-2261)へお問い合わせください。

小規模土地改良事業

認可申請受付中

- ▲昭和52年度の農業基盤整備を図るため、小規模土地改良事業を共同で施行する方は、7月末日までに認可申請書を提出してください。
- ▲この事業は、1団地の受益農地面積がおおむね1ヘクタール以上で受益戸数が5戸以上となっています。
- ▲補助対象事業は次のとおりです。
 - ・農道(幅員2.5メートル以上)、溜地、水路(土水路を除く)、頭首工、橋梁、農道舗装(幅員2.0メートル以上)などの事業で、いづれも総工事費は100万円以内の事業が対象となります。
 - ・補助率は、当該事業に要する経費の100分の45以内です。
 - ▲昨年申請しながら認可されなかった分については再び申請が必要です。
 - ▲事業認可申請についてのお尋ねは市産業部土地改良課へ。(☎③2111内線381)

ふるさとの祭り展

5月16日から歴史民俗資料館で

歴史民俗資料館は、5月16日から6月30日まで「ふるさとの祭り展」を開きます。

最近、むらの生活が急速に都市化し、昔からの民間行事や祭りなどをすたれかけています。

市内で今日なお引き継がれ、受け継がれているものの中から代表的な祭りの用具を展示し、祭りを通して私たちの郷土を見直し、育ててもらった「ふるさと運動」の一環として開くものです。

【主な展示用具】

- ・トントン祭り(伊万里町)
- ・女相撲(波多津町)

5月の市民会館行事

- 6日～10日 18時～22時
- ・小型船舶免許講習会(有限会社伊万里発動機)
- 8日 13時～22時
- ・クールファイブショー(名村造船所労働組合)
- 10日 13時～16時
- ・クレーン運転者安全講習会(唐津、伊万里地区クレーン協会)
- 15日 12時30分～17時30分
- ・ピアノおさらい会(徳田ピアノ教室)
- 22日 10時～22時
- ・藤の実会発表会(藤間伊之輔)
- 29日 9時～17時
- ・ピアノ発表会(山口英子)

- ・府招浮立(南波多町)
- ・虎まわし(松浦町)
- ・へその緒切り=締縄(松浦町)
- ・中里浮立(二里町)
- ・大念仏踊り(東山代町)

▲展示期間 5月16日～6月30日まで(日曜、祝日は休み)

▲展示場所 松島町歴史民俗資料館

▲観覧は無料です

◎5月1日から15日まで、資料入れ替えのため休館させていただきます。

日曜緑化教室へ

どうぞ

佐賀県緑化センター

県は、県民の皆さんに庭木類のふやし方や環境緑化のすすめ方などについて、毎月第1日曜に「日曜緑化教室」を開きます。内容はできるだけ分かりやすく実際に役立つものを心がけています。教室参加は無料です。気軽にお出かけください。

- ▲場 所 佐賀市高木瀬町
佐賀県緑化センター
- ▲日 時 (10時～12時)
- 6月5日 庭木
 - 7月3日 東洋蘭の栽培法について
 - 8月7日 緑化木の特性
 - 9月4日 庭木の仕立て方
 - 10月2日 実生による庭木のふやし方
 - 11月6日 生垣の作り方
 - 12月4日 正月盆栽の作り方

電気工事士試験

受付期間 5月10日～20日
昭和52年度電気工事士試験が次の要領で行われます。

▲試験日時

- ・筆記試験 昭和52年6月12日 午前10時～12時
- ・技能試験 昭和52年7月31日

▲試験場所

- ・筆記試験 佐賀市緑小路1番
- ・県立佐賀工業高校

- ・技能試験 筆記試験と同じ

▲受験資格 年齢・学歴は不問

▲願書提出期間 昭和52年5月10日～5月20日まで

▲願書の請求、提出先 〒840 佐賀市城内1丁目1番59号 佐賀県経済部工鉱課

(0952④2111 内線2525)

▲受験手数料 1,500円(佐賀県収入証紙)

▲提出書類 受験願書・受験票 写真票

▲その他試験の内容などについて詳しいことは県経済部工鉱課までお問い合わせください

小中学校に

松葉ぼうき500本

佐賀県伊万里土木事務所は、このほど市内の小中学校(17校と9校)で使ってもらうため、松葉ぼうき500本を市教育委員会に贈りました。

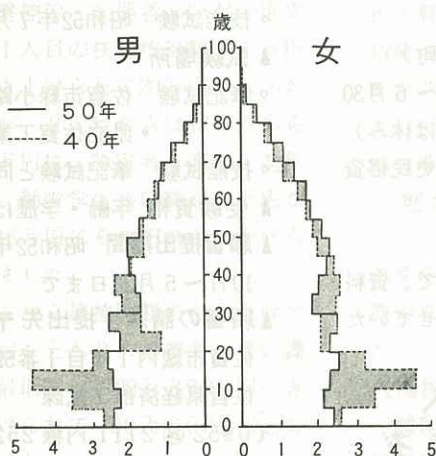
この松葉ぼうきは、山代町浦の崎の県失業対策作業場で高齢者対策事業として作られたものです。市教育委員会は、りっぱなぼうきを20～30本づつ各学校に配布しました。

グラフで見る伊万里市 その4

若い人が増えています

＝年齢別人口と産業別就業人口＝

図1、年齢別人口



昭和50年「国勢調査」の20パーセント抽出結果（全国は1パーセント抽出結果）による人口の構成です。

10年前と比較すると生産年齢人口が増加しています。中でも20歳代は33パーセント増加し、特に男性は1,705人（576パーセント）も増えました。

年齢別人口

図2、年齢別人口の構成



（図1・2）

その理由は、戦後のベビーブーム期に出生した人がこの年齢層にあることや、男性雇用型の企業が進出したことなどによるものです。全国と比べると、伊万里市は老年人口が多く逆に年少人口が少いのが目立ちます。

老年人口は今後も増加の傾向にあります。

図3 産業別就業人口の推移

年	就業人口	第1次産業	第2次産業	第3次産業
40年	29,828人	42.1	24.4	33.5
45年	30,910人	33.4	28.8	
50年	29,570人	23.8 (7,045人)	34.9 (10,330人)	41.2 (12,195人)
佐賀県 50年	396,600人	25.9	26.4	47.7
全国 50年	53,140,700千人	13.9	34.1	52.0

※ 昭和50年については国勢調査の概要です。

（注）第1次産業……農業・林業・狩猟業・水産業

第2次産業……鉱業・建設業・製造業

第3次産業……卸売・小売業・金融・保険・不動産業

運輸通信業・電気・ガス・水道業・サービス業・公務

産業別就業人口

第1次産業の就業者は、圃場整備や機械化など構造改善による労働の省力化が進み減少しています。第2次産業は、鉱業が衰退したものの製造業の企業誘致や地場産業の発展に伴い大きく伸びています。第3次産業も、商業やサービス業が増えており今後も第2次・第3次産業の就業者は増加する見込みです。

（図3）

● 年金コーナー

拠出・福祉年金を引き上げ

国民年金は、拠出年金・福祉年金ともに老齢年金をはじめ各種年金額が引き上げられます。

▲拠出年金

今年の7月から、老齢年金・通算老齢年金・障害年金（1、2級）・母子年金・準母子年金遺児年金・寡婦年金ともに51年度の全国平均消費者物価指数の上昇率に見合う額が加算されます。この加算は、これまで毎年9月に行われていたのが今年は2か月繰り上げられました。

▲福祉年金

各福祉年金の月額が今年8月から次のように引き上げられます。

- 老齢福祉年金
1万3,500円……1万5,000円



3月

総額は43億9,600万円で先月より2億3,600万円・5%の減です。

輸出

ギリシャ向け船舶1隻34億2,400万円。

輸入

原木9億7,200万円。内訳は、南洋材6億5,900万円、米材3億1,300万円。先月に比べ2億6,800万円・22%の減。

船舶の入港

日本船1隻、外国船10隻（パナマ5・フィリピン2・インドネシア2・リベリア1）の計11隻で、先月比2隻の増です。

（唐津税関支署伊万里出張所）

成人病・妊婦健康相談

次の日程で2か所ずつ行います。午前中は成人病相談、午後には妊婦健康相談です。

▲日時と場所

- 5月4日 二里公民館・大川公民館
- 5月10日 波多津公民館・東山代出張所
- 5月17日 黒川公民館・南波多公民館
- 5月24日 山代公民館・松浦公民館

▲成人病相談は血圧測定・検尿 高血圧知識の普及と予防など

▲時間 10時～11時30分

▲妊婦健康相談は妊婦・分娩・産褥期の保健衛生・新生児の保育など。

▲時間 13時～14時30分

●母子手帳をご持参ください。

- 障害福祉年金（1級）
2万300円……2万2,500円
 - 障害福祉年金（2級）
1万3,500円……1万5,000円
 - 母子、準母子福祉年金
1万7,600円……1万9,500円
- ※今までの支払月であつた1月5月・9月が今年から4月・8月・12月になります。なお、12月の支払いは、受給権者から請求があれば11月に支払います。

上半期 小児マヒ生ワク投与

▲対象者

- 初回 昭和51年8月1日～昭和52年1月31日までの出生児
- 追加 昭和51年2月1日～昭和51年7月31日までの出生児

▲日時と場所

- 5月10日 黒川公民館（黒川町）
- 5月11日 波多津公民館（波多津町）
- 5月12日 大川公民館（大川町）
松浦公民館（松浦町）
- 5月17日 二里公民館（二里町）
- 5月18日 南波多公民館（南波多町）
- 5月19日 東山代公民館（東山代町）
- 5月24日 山代公民館（山代町）
- 5月25日 市役所4階大会議室（大坪町、大川内町）
- 5月26日 市中央公民館（牧島伊万里町）
- 5月31日 市役所4階大会議室（補回）

▲時間 13時30分～14時30分

●当日は母子健康手帳をご持参ください。なお、投与は無料です。

市民のページ

行政相談委員決まる

行政管理庁の行政相談委員として、昭和52年度から次のお二人が委嘱を受けました。

- 東山代町大久保 岩本判三氏 (☎⑧0546)
- 新天町坂口 井手敏男氏 (☎②4350)

国・県・市など役所の仕事、例えば恩給・年金・保険・道路河川・税金・登記・郵便・許可や認可、また国鉄・電電公社・公庫事業団などについて、苦情のあっせん解決を図ります。気軽にご相談ください。

= 鯉のぼり

電線にご注意＝

- ▲鯉のぼりは電線から離れたところにたてましょう。
- ▲鯉のぼりのポールをたてる時とたおす時は電線にさわらないようにしましょう。
- ▲鯉のぼりが電線や電柱に引っかかった場合は、危険ですから自分でとらずに、すぐ九州電力伊万里営業所へご連絡ください。(☎③2194)

5月1日から

印紙税額が変わりました

印紙税法が一部改正され、今月1日から契約書や受取書などの印紙税が変わりました。

詳しいことは税務署にお尋ねください。また、後日説明会を開く計画です。改正税額の一覧表は税務署に用意しています。

●伊万里税務署 (☎③3147)

手づくり(食物)

教室受講者募集

次の要領で受講者を募集します。早めにお申し込みください

- ▲場所 中央公民館料理実習室
- ▲開催回数 毎月1回
- ▲時間 9時20分～12時まで
- ▲定員 30名(定員になり次第締め切ります)
- ▲会費 1回300円程度
- ▲申込先 市役所生活相談課 (☎③2111 内線225～228)

子宮ガン集団検診

- ▲対象者 30歳以上の方(妊婦を除きます)
- ▲料金 250円
- ▲日時と場所 5月18日 東山代小学校(東山代町)
- ▲受付時間 13時～13時30分

伊万里を美しくする市民運動5月1日～10日

5月8日⑩は市民大清掃日です



- 公園・道路など公共施設の清掃(5月8日市内一斉に行います)
- 家庭内と周辺の清掃(5月1日～10日までそれぞれ行います)
- 事業所・学校・幼稚園・保育園の清掃(5月1日～10日までに)

▲市民一掃き運動 ▲あき缶など道路にすてないで

☒不用品の登録状況☒

●あなたの家庭で不用になりねむっているものがありましたらどしどしお申し込みください。

●申し出先 市役所生活相談課 (☎③2111 内線225～228)

◆ゆずり 夜具1組・着物ウマス ール4・同綿1・古綿2・ふとん・蚊帳・ねんねこ・ショーケース・ベビーダンス・コンビラック3・ミシン3編機4・あて名印刷機・三輪自転車・湯わかし器2・カラーテレビ・風呂釜2・テープレコーダー・コーラケース・石油ストーブのガード・クーラー3・オ

ープン・タイヤ2・スポーツバッグ

◆もとも 子ども用椅子・陳ます 列ケース2・アルミサッシ・組立式ブランコ2・2段用ベッド4・書棚・洋服ダンス・コンビラック・ランドセル黒・剣道防具・乳母車3・複写機・印刷機・英文タイプ・子ども用自転車8・婦人用自転車6・男子用自転車5・ミシン2オルガン5・ピアノ2・クーラー・風呂釜3・箱火鉢・扇風機4・プレーヤー・掃除機・電気コタツ・冷蔵庫・小型冷蔵庫・ファンクーラー・平板測量機一式・石炭ストーブ

国税専門官募集

- ▶ 受験資格 昭和25年4月2日から昭和31年4月1日までに生まれた男子
- ▶ 試験 大学卒業程度
- ▶ 願書受付 5月16日から23日まで
- ▶ 第1次試験 7月9日・10日
- ▶ 試験の種目
 - ・教養試験 公務員として必要な一般的な知識および知能についての多枝選択式による筆記試験
 - ・専門試験 憲法・行政法・民

法・商法・経済学・財政学・経営学・会計学などについて多枝選択式による筆記試験と憲法・経済学・会計学・社会学の中から2科目選択による記述式筆記試験

- ▶ 試験場所 福岡市南区大楠3丁目 福岡大学高宮校舎
- ▶ 願書請求先 人事院九州事務局・福岡国税局・大学の就職担当課
- ▶ 願書提出先 福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号 福岡国税局
- ▶ 第1次合格者発表 8月26日
- ▶ 最終合格者発表 11月1日

- ▶ 採用予定人員 全国で500人
- ▶ 採用予定日 53年4月1日
- ※受験ご希望の方は、人事院九州事務局(☎092-431-7733)か福岡国税局(☎092-411-0031)・伊万里税務署(☎3147)へお問い合わせください

次の方からご寄付をいただきます。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ◆ 篤志寄付
- ・ 五千七百元 市役所七隈
- ・ 壹百万円 第三十一回国
- 民体育大会伊万里市実行委

- 員会
- ・ 八百拾六円 明静美運動
 - 伊万里市推進協議会
 - 社会福祉事業費へ
 - ◆ 香典返しを寄付
 - ・ 池田法正(大坪町白野)
 - ・ 亡父高次
 - ・ 山田敏男(南波多町府招)
 - ・ 上 亡父定吉
 - ・ 立石辰己(東山代町脇野)
 - 亡父熊円)
 - ・ 吉島 清(立花町西円蔵)
 - 寺 亡母ミサヲ)
 - ・ 川久保袈裟雄(山代町楠)
 - 久 亡父友助)
 - ・ 原 徳次(二里町金武)
 - 亡妻ハル子)
 - ・ 緒方高明(南波多町府招)
 - 上 亡母マス)
 - ・ 山下朝久(伊万里町本町)
 - 亡母チヲ)
 - ・ 田中ヨシノ(大川内町市)
 - 村 亡夫芳)
 - ・ 副島 博(大川内町岩谷)
 - 亡長男俊幸)
 - ・ 古藤辰郎(大川町川原)
 - 亡養母イロ)
 - ・ 黒川紀夫(黒川町小黒川)
 - 亡父鬼一)
 - ・ 吉村 稔(松島町二〇七)
 - 亡妹セツ)
 - (昭和五十一年度計)
 - 六八五万六、七〇三円)
- ・ 崎原トシエ(山代町久原一區 亡夫貞一)
- ・ 千足リキ子(伊万里町上土井町 亡夫春一)
- ・ 宮崎熊太郎(山代町久原三區 亡母ワイ)
- ・ 有馬宏孝(東山代町里)

亡妻満子)

・ 中島正男(松浦町下分)

亡母マス)

・ 深堀克彦(伊万里町幸善町 亡父清)

・ 久保寅一(波多津町浦)

亡父紋吉)

・ 山浦常助(山代町楠久)

亡父盛太郎)

・ 林 愛二(山代町立岩)

亡父勝一)

(累計一五万三、〇〇〇円)

◆ 教育振興奨励基金へ

◆ 香典返しを寄付

・ 川久保袈裟雄(山代町楠)

久 亡父友助)

・ 長谷川丈夫(波多津町木場 亡父宝助)

・ 小林輝義(南波多町大曲)

亡祖母ミネ)

(累計一二十五万七、〇〇〇円)

文化事業資金へ

◆ 香典返しを寄付

・ 太田明二(二里町川東)

亡父二也)

◆ 体育振興奨励基金へ

◆ 香典返しを寄付

・ 緒方高明(南波多町府招)

上 亡母マス)

◆ 篤志寄付

・ 壹万円 中島紘一(新天町六五四)

・ 壹百万円 第三十一回国

民体育大会伊万里市実行委員

員会

・ 参千円 井手薫(栄町)

童話入賞金を)

黒川公民館施設資金へ

◆ 香典返しを寄付

・ 黒川紀夫(黒川町小黒川)

亡父鬼一)

山代町コミュニティー

センターへ

◆ 香典返しを寄付

・ 川久保袈裟雄(山代町楠)

久 亡父友助)

・ 川久保真一(山代町久原一區 亡母キミ)

・ 山下善郎(山代町城 亡

祖母ツゲ)

(昭52・4・16現在)



ありがとう

ございました

こどもページ



井手 薫さん

童話 赤いカラス

とおい山やまの雪もきえ、野山には、草花がおくまでさきほこっています。かぜがやさしく草花をなで目にみえるものはなにもかも楽しんでおどっているかのようでした。

野原のむこうに大きな森があり、そのはずれに、やさしい春の日ざしをいっぱいにあびたひろびろとしたみずうみがありました。そのみずうみでは、森の鳥たちが水をパチャパチャとはねとばしながら、からだをあらっていました。さむい冬のあいだよごれていたからだをきれいにしているのです。

「なんて気がいいんでしょう」鳥たちは、口ぐちにそういいながらとても楽しそうです。カモが、みずうみのほとりの大きな木の枝にとまっているカラスをみていました。

「カラスさんおいでよ。とても気がいいですよ」。カラスは水あびしている鳥たちをみおろしながら、「フン、なにが、とても気持ちがいいですよだ。みているだけでもさむくでしょうがない」とにくらしげにつぶやきました。鳥たちは羽根を口ばしでいねいにあらいい、とてもきれいになりました。そしていつせいははばきながら、空にまいあがりましました。それは、春の日ざしをうけて光りかがやくまっ白のわたが、そよかせにのってまいおどっているようでした。なぜなら、鳥たちは、今のようにうつくしい赤や緑などの色でなく、くじゃくやきじもみんなま

つ白の色だったからです。

鳥たちは、カラスがとまっている大きな木の枝にとまり、ブルブルとからだについている水をふきとばしました。「おい、よせよ。水しぶきがかるじやないか」。カラスはくびをすくめながらいいました。「カラスさんもからだをあらいなさいよごれているよ」とカササギがいましました。「おおきなおせわだよ。おれは黒くなりたいたんだよ」と、カラスは心にもないことをいきました。

その話をきいていたキジが、「野原の花はあんなにいろいろな色があるのに、私たちはどうして白色しかないのかなあ」とつぶやきました。キツキが木をコツコツつきながら、「白色でないとよこれがわからないからさ」といきました。「この長い羽根いっぱい、虹のようにきれいな色はほしいなあ」。くじゃくは、空のかなたにうかんんでいる虹を見ながらつぶやきました。みんなも、空を見あげました。森のむこうの野原から、とおい山の空にかけて七色のとてもきれいな虹のはしがかかっています。

「虹は、どうしてあんなにきれいなんでしょう」。コロコロとした声でカナリヤがいきました。「それは色の神さまがおとるはしだからさ」

赤いカラス (上)

三 席

森で一ばんのものしりフクロウがいきました。「色の神さまは、なにをして虹のはしをわたってくるのですか」とカナリヤがききました。フクロウは「エヘン」とせきばらいをして、とくいげに話しました。

「草や木は、みんなのように自分からだをあらうことができないだろう。だから色がさめたら、神さまがぬりなおしてくるのだよ」。カラスが、「草木だって、雨がふればきれいになるじやないか」と口をはさみました。フクロウは「さいごまでだまってきなさい」といい、「草木は、雨できれいにはなるが、私たちのようにすきなときに水あびしてきれいにすることができないので、色があせてしまうのさ。だから雨がふってよこれがおち、きれいになったときに、色の神さまが虹のはしをわたってきて色をぬりなおすのだよ」みんなは、「なるほど」とうなずきました。

「フクロウのおじさん、私たちに、きれいな色をつけてもらうことはできないのですか」。虹がきれいなのをうらやましがっていたカナリヤがききました。みんなも同じ気持ちだったので、フクロウの話す声をききもらずまいと耳をかたむけました。「さっきもいったように、色の神さまは虹のはしをわたってきて草花に色をぬりなおすのだから、その前に神さまにおねがいすればいいよ」フクロウはいいました。「でも

これは、「第2回佐賀新聞童話賞」で第3席に入選した井手薫さん(栄町・38歳・伊万里市教委勤務)の作品です。県内から応募のあった101編の中から選ばれました。2回連載でお届けします。

虹はおくで、いくうちに草花に色をぬってしまい、虹もきえてしまっているよ」とヒバリがいきました。

フクロウが、「この森の木をみなさい。色あせているだろう。こんどこの森に雨がふったら、きつと色の神さまは虹のはしをこのみずうみにかけて、色をぬりにやってくるよ。そのときにみんなでおねがいをします」といいました。みんなはよろこびました。そして、それぞれにどんな色をぬってもらおうかと、楽しそうに話しました。

カラスは、「おれは赤色がいいな太陽と同じように、からだぜんぶをまっかにするんだ」といい、ニヤリとえみをうかべました。「早く雨がふらないかなあ」。鳥たちは口ぐちにそういいながら、森の中にきていききました。(佐賀新聞から転載)

※このつづきは六月号でお届けします。